

花粉症対策の車内の内気循環は有効？



花粉症の人にとって、花粉の時期の外気は極力触れたくないものです。重度の花粉症の人であれば、花粉の時期は外に出ず、外気を完全に遮断して引きこもりたい気持ちにもなりますよね。しかし、現実にはそうもいかないのが、花粉対策が重要になります！

車内の花粉症対策で、参考にしたいのが、JAFのユーザーテストによる内気循環と外気導入の車内環境の検証結果です。

同時に行われた「車内の花粉量」の計測についても、外気導入にしても花粉はわずかな量しか検出されなかったという結果が出ています。

最近のエアコンフィルターはPM2.5対策をうたう製品も多く、花粉を気にして内気循環にする必要はあまりなく、外気循環でよいということです。

外気導入で車内の二酸化炭素濃度はつねに1,000ppm前後ですが、内気循環では最大で、6,770ppm。外気導入と比べて約5.5倍の数値となっております。

二酸化炭素の濃度が3,000ppmを超えると、疲労感の増加や注意力の低下、頭痛を引き起こす人が増加するともいわれています。そのため、最低でも1時間に1回は換気をしたほうがよいことが、確認されております。



Point!

- ・ 運転中は、花粉を気にして内気循環にする必要はあまりない
- ・ エアコンフィルターは使用するにつれて目詰まりするので、年に1回か、10,000kmごとに交換するとよい

その他おすすめ花粉症対策！



マスク・メガネの着用



綿・絹・化繊などの素材のお洋服



部屋に入る前に粘着テープで花粉を除去